

令和5年度 第3学期 始業式あいさつ

あけましておめでとうございます。今年の干支は辰です。中国において辰はシンボルとされ幸福をもたらす存在で旧正月の春節祭には獅子舞と同様に竜が踊り、その周辺では竜の衣装に身を包んだ人々が盛大に祭祀を盛り上げ活気に満ち溢れています。沖縄においても首里城正殿の王座には大龍柱がそびえ立ち城内の至る処に龍の彫刻が施され琉球王国の象徴とされています。

さて、今学期は残り3ヶ月ですが1、2年生は実質51日間、3年生は8日少ない43日間となります。1、2年生は、今年度のまとめと次年度へ向けての準備、3年生は、中学校3ヶ年間の集大成と高校入試に向けた最終章が控えており、義務教育課程を終える卒業式が待ち受けています。

「一月(いちげつ)往(いぬる)二月(にげつ)逃(にげる)三月(さんげつ)去(さる)」という諺があります。これは正月から三月までは恒例行事が多いことから、この時期は月日が早く流れる事の喩えとして示されています。また「光陰矢のごとし」と言っても時の流れが速く感じられる時期でもありますので、一日一日を大切に見通しを持って学校生活を送っていきましょう。

3学期は全校生徒37名にとって重要な学期となります。心身ともに鍛え、「ここぞ」という場面で「力が発揮」できる生徒になることを期待しております。検定試験や各種大会、コンクール等、最たるものは高校入試ですが「ここぞという場面」で実力を出せるかどうかは、結局のところ日常生活における前向きな姿勢や日々の行動の積み重ねの中でどのような取り組み方をしたかに帰結します。

3学期も「全力投球」の心意気を持ち先生方と二人三脚でゴールに向かって進んでいきましょう。
これをもちまして令和5年度3学期始業式の式辞とします。

令和5年1月9日
校長：石原 昌英